

日本における令和6年度の人権啓発重点目標

『誰か』のこと じゃない。



マイクロアグレッションってなんだろう？

マイクロアグレッションという言葉を知っていますか？おそらく多くの人が初めて聞くような言葉ではないでしょうか。

この言葉はマイクロ（小さな）アグレッション（他者への攻撃）を組み合わせた言葉です。小さな攻撃性と訳すことができ、「無意識の偏見や差別によって生まれた悪意のない些細な発言が、誰かを傷つける」「無自覚の差別行為」「無意識の偏見や思い込み（アンコンシャス・バイアス）が言葉や態度に現れ、否定的なメッセージとなって伝わり意図せず誰かを傷つけてしまうこと」などと訳すことができます。

私は差別などしたことがないと思っている人たちも、ひょっとして自分が悪意なく無意識にやっちゃっていることが、他の誰かを傷つけてしまっているかもしれないと考えることが大切です。また、言われた方も、「言った相手に悪意はない」と分かっているから、抗議するわけにもいかないし、言った側も問題だと気づきにくいということも、マイクロアグレッションの特徴の一つと言われます。

では、どんなことがこのマイクロアグレッションにあたるのでしょうか？例をいくつかあげますので、自分の日常生活でどうだったか振り返ってみてください。また、どうしてそれがあたるのか考えてみてください。

大切なことは、誰であろうと他者を尊重し、相手に対する想像力と共感力を持って接すること、そして相手の話に心から耳を傾けることです。

☆マイクロアグレッションと考えられる言動の例（本人は褒めているつもりでも、というものもありますね。）

- ・新社員なのに仕事ができるね！
- ・1年生なのにしっかりしているね。
- ・黒人はダンスが上手いなあ〜。
- ・若いのに大したもんだ。
- ・あなたの考えは日本人っぽくなくて大胆な考え方をしているね！
- ・LGBTQ なの？見えない！意外！すぐまともに見える。
- ・〇〇さんはブラジル人だから、サッカーとかやります？
- ・△△さんは韓国人だから、家にキムチ常備してるんですか？
- ・（日本に住んでいる外国人（に見える人）に）「日本語上手ですね」「お箸使えるのすごい」
- ・女の子はオシャレとスイーツが好きだし、喜ぶと思います。
- ・新入部員にしてはいいこと言うね。
- ・障がいがあるのにがんばっているね。
- ・背が高いね、バスケットボール部だった？
- ・高齢者にITは厳しいよね。
- ・（絵の具の）肌色貸して。
- ・すげえ、黒人の友人がいるんだ。

日頃の会話でよくみられますが、これらの言動で、傷つく人がいるかもしれないと考えていくことが大切です。